

(様式1)

自己評価票

作成日 平成 26年 5月 16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100762		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム もくれん	ユニット名	南館
所在地	311-3412 小美玉市川戸1425-14		
自己評価作成日	平成 26年 5月 16日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

日々の関わりの中で、一人1人が持っている力を見出し、本人のやる気を引き出し活躍出来る場面作りに取り組み、必要に応じてさりげないサポートをし柔軟な対応を心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	独自の理念を共有し、実践につなげている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方々から、野菜を頂いたり小学校へ花見に出掛け、子供達との交流したり、草刈り、雪掻きのボランティアの方々と飲み物や食事を提供したりと繋がりを持つようにしている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣のお店へ買物に出かけたり、小学生との交流を持つ事により、認知症の方への理解を深めてもらい、福祉に目を向けて貰える様に取り組んでいる。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の方もメンバーえを変えながら色々な意見を出して貰いサービスの向上に生かしている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	連携を密に行ない、事業所の事情を伝えたり、相談したり、協力関係を築く様に取り組んでいます。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束のないケアの実践に取り組んでいる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者間、事業所内での虐待がないように、見過ごされる事がなく、目配り声掛けを行い防止に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の必要性があれば、関係者と話し合い制度を活用できるよう支援します。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に時間を設け納得のいくまで説明をしています。また、分らない事を、聴く体制作りに取り組んでいます。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	自由ノートやご意見箱を玄関横に設け、意見や要望など気が付いた点（中々いえない部分）を気軽に記入して貰っている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員から意見などを聞く機会を作り（昼休み、ミーティング、お茶の時間等）働きやすい職場作りをしている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	母体病院側で全て行なっています。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全ての職員に交代で研修を受ける機会を与え、介護技術や質の向上となる様取り組んでいます。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者間での意見交換が出来るよう、交流する機会を増やし、向上につなげて生きたい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	知らない所での生活に対する不安は、相像以上のものかと思われます。心配事、不安や要望などに耳を傾け少しずつ信頼関係作りに努力している。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時の契約には、納得のいく説明をしている。家族からの要望、困りごとなどを良く聞き、何かあれば気軽に話をし、話をして貰える雰囲気作り、信頼関係作りに努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今この人は何を必要としているのかを見極め、優先順位を生活の中で観察し、早めの対応に努めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は本人と苦楽を伴にし、一緒に暮らし支えあいながら関係を深めて行ける様努力している。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	自由に家族に面会に来て頂き、誕生日のお祝いと一緒にしたり、外出したりと良い関係が続く様に支援しています。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大切な知人への電話や手紙の取次ぎを行い、面会に来て頂いたり、一緒に外出したり出来る様に支援に努めています。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気のあったもの同士や職員と気軽に関わりを持つ様に所々に長椅子を置き、自由に交流を持つ様に努めています。孤立しない様な声掛けに努めて居ます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了しても、近くに来た時には、気軽に立ち寄って貰えたり、今までと変わらず電話等で相談をして頂けるような関係作りに努めています。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	それぞれ、自由に1日過ごされており、畑仕事を楽しみにしている方、読書・輪投げ・カラオケをして過ごされている方など暮らし方は人様々です。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、本人や情報提供書などから把握している。暮らしの中にそれぞれの趣味やこれまでの経験を活かし力を発揮して貰い、これまでの生活が出来る限り継続して頂けるよう支援している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりのペースや生活リズムを大切に崩さぬ様、見守りをし、必要な時はその都度要望に沿った支援をしている。本人なりのペースで過ごせる様柔軟な対応をしている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	少しの時間を見つけて、担当職員で話会いをし、日々の観察と気づきからの課題を意見交換をし、家族からの情報等を元により良く暮らす為の介護計画を作成している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮している様子や気づいた事などを個別のケース記録に記入している。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望や訴えを良く聴けるよう柔軟な対応を心がけている。その時々身体の状況の変化に応じた支援・サービスの多機能化を目指し取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の方々、警察、ボランティア等と協力しあいながら、その人らしく安全に穏やかな生活が出来るよう支援しています。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診は自由となっている。母体病院以外の受診を希望される方には、家族の協力を得て受診前の本人の情報を提供し受診後は家族より検査結果や医師の指示注意事項を確認する様にしている。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	身体状況や変化、薬の有無などを訪問診療の数日前から漏れの無い様注意し報告・相談・情報提供をして十分に連携がとれている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	母体病院との情報交換、連絡を密にし、安心して治療ができ、早期退院に向けて病院側との関係作りを行なっている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の契約時点で家族と方と十分な話し合いを行い、納得して頂ける説明をする様にしています。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員がいざと言う時に確実、適切な行動を取るのには難しいと思う。実践力を身につけるよう定期的な講習を行なっていきたいと思います。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な訓練を年に2回必ず行っている。全員で真剣に取り組み、実践力を身につけている。反省も含めて、訓練結果の記録をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の訴えに耳を傾け、一緒に解決して行く努力をし、人格を傷付けない声掛け. 対応にて、穏やかな日々を送って頂ける様努めている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	暮らしの中で入居者自身が決めたり、希望を表出が出来る様に目線を合わせて十分に話し聞いたり、分かり易い言葉で簡潔な言葉で話している。文字や身振り、身体を使ったコミュニケーションに取り組んでいる。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴時以外は自由に過ごされており、野菜を育てたり、読書. 輪投げ. カラオケ等思い思いに楽しまれている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装は自分の好みで自由に選んでもらいその人らしさを大切にしている。カチューシャ. スカーフなどのお洒落も楽しんで頂ける様に支援している。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の素材を一緒に下準備したり、畑で育てた野菜を収穫して食べる喜びを味わえるよう努め、献立表を掲示し、毎日の食事が楽しみなるよう支援している。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康管理表を作成し、食事の摂取量は水分摂取量をチェックして毎日記録し個々の健康状態を職員が把握しています。食生活の支援も大切に活用しています。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後にタイミングを見て声掛けし、自分の力を活かして、自分でやれる様に支援している。必要に応じて、さりげなく手伝いに入っている。うがいにはお茶を使っている。希望により、歯科受診を受けられる。(うがい、歯磨き)

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	共同トイレでの排泄の声掛けを個々のパターンや兆候に合わせてさり気なく行い、出来る限り自立に向け支援を行なっている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便表を活用し、掃除、苑庭散歩、テレビ体操、ボール投げ等、楽しみ事で体を動かす機会を設け自然排泄を促すよう取り組んでいる。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は職員の都合となっている。それぞれが入浴を楽しみにされており、ゆったりと気持ち良く入浴できるように配慮をし支援している。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠剤を服用されている方がいる、長年服用されており服用しないと眠れないため継続して頂いている。他の方は、戸外散歩、家事（掃除、洗濯物畳み等）日中の活動を通して個々に合わせた生活のリズム作りを意識的に行い就寝に向けて支援している。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	「お薬ノート」を作成し、副作用や注意点が書かれてあり、職員は何時でも見て、薬の内容を把握、理解に努めている。服用時には、誤飲・飲み残しにも注意して見守りしている。状況の変化がある場合は、記録している。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴、趣味を本人や家族、良く知っている人から教えて貰っている。生活の中で経験を活かし、得意分野で個々の役割を引き出し力を発揮して貰えるよう支援している。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ある一定の方は家族と定期的に外出・外食をされている。それ以外の方は、外出の機会が余りない。今後は、家族や地域の方々に協力を頂きながら、出掛けられる機会作りを支援していきたい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭は、自己管理が出来る方には所持して頂き、本人の希望や力量に応じて行なっている。買い物は、食べたい物・好みの衣類等を頼まれた時は本人からよく聞きその都度買って来て対応し本人が気に入らない時は交換して貰うなど柔軟な対応をしている。外来受診・外出時に、自分で買物される時もある。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>玄関フォールの公衆電話を自由に使用している。家族や友人と繋がりを保っていける様に手紙投函や電話の取次ぎを積極的に支援している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関スペースもゆったりとした雰囲気作りとなっている。季節感のある花や飾り物を飾っている。時々に合わせて思い思いの場所で1人や気の合う者同士の語らいが楽しめる場所作りをしている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ロビーや玄関に長椅子やベンチを設置してある。他の棟の方々との交流もあり、自由に過ごせる時間、場所の確保をし安らぎを得られる環境作りに努めている。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのある商店のカレンダー、家族の写真を飾ったり、使い慣れた（食器等）を持ち込んで使って頂き、安心して生活が送れる場所となるよう工夫している。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの力量に応じて、安心して、自立した生活が送れる様工夫している。農作業道具、大工道具等を揃え、職員と一緒に野菜作りや収穫、食材の下準備、洗濯物取り込みを行ない、本人の活躍場面作り達成感を感じられるよう声掛け、雰囲気作りに取り組んでいる。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない